

今月の Pick Up

編集室がピックアップした旬な話題をお届け！
詳しくは各ホームページをご覧ください。

01

9月20日から新型コロナウイルスの追加接種（新しいワクチン）が始まりました



生後6カ月以上の方全員を対象に、オミクロン株 (XBB.1.5) に対応した新しいワクチンの無料接種が始まりました。効果と副反応についてご理解いただき、接種を検討ください。

期間 9月20日～令和6年3月31日(日)

※期間中に1人1回接種できます。

接種券について

- 未使用の接種券（3～6回目用）をお持ちの方
お持ちの接種券で接種を受けてください。紛失した方は再発行の手続きが必要です。
- 前回接種で接種券を使用し、接種券がない方
前回接種日から3カ月後に順次お送りします。

接種の対象となる方

年齢	これまでの接種回数	前回からの接種間隔
12歳以上	2～6回	3カ月以上
5～11歳	2～4回	
生後6カ月～4歳	3回	

【問い合わせ先】

新型コロナワクチンコールセンター ☎ 0120-920-737
(12月29日～1月3日を除く9時～17時)

02

参議院議員補欠選挙が行われます



投票時間は、鏡・土佐山地区は7時～18時、そのほかの地区は7時～20時です。

投票日 10月22日(日)

今回の選挙で高知市で投票できる方

次の①②の全てを満たす方

- 平成17年10月23日以前に生まれた
 - 令和5年7月4日までに高知市に転入の届け出をし、引き続き居住している
- ※令和5年7月5日以降に、県内他市町村または徳島県内から転入した方は、前住所の市町村にお問い合わせください。高知市から他市町村へ転出した（予定）方は、市の選挙管理委員会までお問い合わせください。

- ▶投票所入場券は、10月5日(木)から順次郵送します。
- ▶期日前・当日ともに投票所入場券がなくても投票できますが、できるだけご自身の入場券を持参いただくようご協力をお願いします。

郵便投票もできます

身体に重度の障害があるなど一定の要件に該当する方は、郵便で投票することができます。



投票日に予定のある方は 期日前投票 を

お住まいの地域に関係なく、市内18カ所いずれの期日前投票所でも投票できます。

期日前投票所	開設日	開設時間
選挙管理委員会 (たかじょう庁舎3階)	10月6日(金) ～21日(土)	8時半～ 20時
各ふれあいセンター(初月・一宮・高須・五台山・三里・大津・介良)、中山間地域構造改善センター、土佐山庁舎、春野公民館	10月16日(月) ～21日(土)	9時～ 17時
高知大学	10月19日(木) ～20日(金)	10時～ 17時
弥右衛門ふれあいセンター、自由民権記念館	10月17日(火) ～21日(土)	9時～ 17時
イオンモール高知、イオン高知旭町店、フジグラン高知、サンシャインヴィアン	10月17日(火) ～21日(土)	10時～ 19時

【問い合わせ先】選挙管理委員会 ☎ 823-9483



「南海トラフ地震が発生し、住む場所がなくなってしまった家族。不安を抱えながらも避難所に向かうことを決断する」—そんな姿を表現した表紙です。詳しくは特集をチェック。

DATE ■ 2023/8/30
MODEL ■ 地域防災推進課の職員

高知市の SNS

高知市「防災情報」
公式エックス(旧ツイッター)
[@kochicity_bosai]

フォローはこちら▶



災害に備えて知っておくといふことや今できる対策など、防災に関するさまざまな情報を発信しています。また、気象情報などもリアルタイムで発信しています。日常の中に防災を取り入れてみませんか。

高知市の人口と世帯

令和5年9月1日現在

人口(前月比) ▶ 31万7,220人(-253人)

男 14万8,378人(-122人) 増加 出生155人 転入等520人
女 16万8,842人(-131人) 減少 死亡350人 転出等578人

世帯(前月比) ▶ 16万4,511世帯(-62世帯)

増加 転入334世帯 その他178世帯
減少 転出302世帯 その他272世帯

おらんく家の 元気人! Vol.7



profile >>> 佐々木 敦河 Sasaki Taiga (25)

高知市出身。日本サッカー協会の4部リーグにあたるJFLに所属する「高知ユナイテッドSC」で活躍中。

試合等の日程はこちらから▶



帰ってきたサッカー少年

「高知で試合をすると『お帰り』と声を掛けてもらえて、人の温かさを感じましたね」そう笑顔で話すのは、ことし高知ユナイテッドSCに新しく加入した佐々木敦河選手。以前は仙台のチームに所属していましたが、地元のチームでJリーグをめざしたいという思いで、高知へ帰ってきました。

兄の影響でサッカーを始めた保育園児の頃から「辞めたいと思ったことはないです」ときっぱり。そんなサッカーの魅力は、「ゴールを決めた時の快感とチームで勝利を味わえること」。練習の傍らで指導するサッカースクールで、子どもたちが楽しそうにプレーする姿に、自分自身の少年時代を思い出すこともあるそうです。

「皆さんが見に来てくれるから、自分たちはサッカーができる」と語る佐々木選手。8月の天皇杯で格上のJリーグチームを二度も打ち破ることができたのも、地元の皆さんが毎回たくさん応援に来てくれたから結果が残せたと感じているそうです。

「今後は、結果によってはJリーグに昇格できるかどうかの試合が続くので、見に来てもらえたら嬉しい」と話す佐々木選手。地元チームのJリーグ選手として子どもたちの目標になる、そんな未来をめざして今日も練習に熱が入ります。



▲試合中、相手選手と対峙する佐々木選手